

## 第3学年 国語科学習指導案

日時 平成18年 9月 6日(水) 5校時  
場所 3年教室  
児童 男 5名 女 5名 計10名  
指導者 室井 博

1 研究主題 確かに読み取る力を育てる指導のあり方

2 単元名 『大事なことをたしかめよう』  
(教材名 「すがたをかえる大豆」 )

3 単元について

(1) 児童について

児童は、一学期に「ありの行列」を学習し、段落の意味を理解すると共に、中心文、段落の要点を読み取る学習を行ってきた。その中で、形式段落がいくつかまとまって大きなまとまりとなっていること、文章全体がいくつかの大きなまとまりから構成されていることにも気付き、段落のもつ役割を考えることができた。

事前テストの結果は、段落の要点を書く問題で、正答率が 段落60%、 段落10%、指示語「この」の指す内容を書く問題で正答率が10%、各形式段落をまとまりに分ける問題で正答率が10%であった。この結果から、段落にある中心文を見付けることができない子がまだ多いこと、指示語の指す内容を何となくは分かっているが正確に答えられない子が多いこと、等が明らかになった。

(2) 教材について

中学年における「C読むこと」の目標は「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。

本単元は、説明文教材を段落やキーワードなどに注意しながら読み取る学習と、教材文の内容を参考に、自分で調べたいものを選んでそれに関する情報を集めて文章にまとめる学習から構成されている。1学期に扱った「ありの行列」は仮説 検証型の文章であるのに対して「すがたをかえる大豆」は解説型に属するが、こうした文章構造の違いにも目を向けさせるのに適している。

本教材は、身の回りにあふれている大豆やその加工食品について書かれたもので、内容的には児童にも身近なものである。ただ、大豆の加工食品は、見ただけでは大豆からできているとは思われないものも多く、その意味では、児童に意外性をもって知ることの喜びを与える内容ともいえる。また、段落構成やキーセンテンスやキーワード等も明確で要約などの学習にも適しており、後の書く活動のよい参考例ともなる教材である。

(3) 指導について

本教材を学習するにあたっては、まず題名から内容をイメージ化させ、単元の学習内容を確認していく。読み取りの学習計画を立てる際は、文章をいくつかのまとまりに分けてから課題を設定していく。

読み取り学習では、内容や意味だけを追うのではなく、接続語・助詞・繰り返し語句などを大事に扱っていく。特に、工夫を述べていく意味段落においては、内容と接続語、助詞を確実に押さえることでこんなにもおいしく食べられる工夫がされているのだ、ということをつかませたい。単位時間の学習活動には、一人学び・学び合いを設定し、一人学びではサイドライン、ワークシートへの書き込みを取り入れていく。学び合いにおいては、段落毎の要点をおさえながら様々な工夫がなされていることを挿絵などを使って実感させていきたい。そして、学習の最後には、毎時間筆者の表現の工夫にふれ、分かりやすい書き方を学ばせていきたい。

読み取り学習の最後には、文章構成に戻り、筆者の文章構成の意図に気付かせていく。叙述がと

ても明確で分かりやすい教材文であることから、筆者の言いたいことを自分で書く活動も最後に取り入れ、叙述に基づいて正しく読めていたかを自己評価させていきたい。

#### 4 単元の目標

##### (1) 関心・意欲・態度

身近な食べ物についての知識を得るとともに興味を広げる。

##### (2) 読むことの目標

いろいろな読み物に興味をもち、読む。(ア)

段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解する。(イ)

内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読む。(オ)

##### (3) 書くことの目標

調べて書く必要のある事柄を収集したり、選択したりする。(イ)

書こうとすることの中心を明確にしながら、段落と段落の続き方に注意して書く。(イ)

##### (4) 言語に関する目標

文章全体における段落の役割を理解する。(オ)

#### 5 単元の評価規準(身につけさせたい力:基礎・基本)

	関心・意欲・態度	読むこと	書くこと	言語事項
単元の評価規準	食べ物について書かれた読み物や図鑑などを、進んで読もうとしている。	段落の中心となる語や文をとらえ、段落相互の関係を考え、文章の内容を正しく読み取ることができる。 段落に書いてある内容について細かく読み取ったり、内容のまとまりに気づき、全体を「はじめ」、「中」、「終わり」に分けることができる。	目的を意識して、調べたことをまとめて書いている。 調べたい事柄について情報を収集したり、必要に応じて選択したりしている。 段落の役割を意識しながら、文章を書いている。	新出漢字を正しく読んでいる。 国語辞典や漢字辞典を、必要に応じて活用している。 文章全体における段落の役割を考えている。 指示語や接続語の役割を理解し、段落と段落との意味のつながりを考えている。

#### 6 指導計画と評価規準(全15時間)

段階	学習活動	時間	評価規準			
			関心・意欲 態度	読む	書く	言語事項
一 次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元名、リード文、題名から学習の見通しをもつ。</li> <li>・全文通読(範読)</li> <li>・初発の感想</li> </ul>	1	「すがたをかえる大豆」に興味をもち、読もうとしている。	「すがたをかえる大豆」の大まかなあらすじをつかむことができる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出漢字を正しく読んでいる。</li> <li>・意味の分からない語句を辞典を使って調べている。</li> </ul>
		1	進んで学習の見通しをもとうとしている。	これから読んでいくうえで、自分の読みの視点をもつことができる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章がいくつかのまとまりからなるか、見通しをもっている。</li> </ul>

		りに分ける ・言語事項				
二 次	ふ か め る	第 段落から、大豆がすがたを 変えること、大豆の基礎知識 を読み取る。	1 進んで大豆の基礎知識を 読み取る。	大豆の基礎知識を正しく 読み取っている。		段落と段落との意味の つながりを考えている。
		第 段落の、大豆を おいしく食べるくふうを 読み取る。	1 進んでおいしく食べる くふうについて読み取る ようとしている。	大豆をおいしく食べる くふうについて、正しく 読み取っている。		段落と段落との意味の つながりを考えている。
		第 段落を読み、大豆が いろいろなすがたで食べ られる理由を読み取る。	1 いろいろなすがたで食 べられる理由と、筆者の 感想について読み取る ようとしている。	大豆がいろいろなすがた で食べられる理由を正しく 読み取っている。		文章全体における段落の 役割について考えている。
三 次	ま と め る	全文を読み、文章全体を 振り返って文章構成につ いて話し合う。その後、筆 者の言いたいことを自分 の言葉でまとめる。 ・3つのまとまりに分 かれる理由	1 進んで文章を大きく分 けようとしている。	文章が大きく3つのまと まりに分けられることを 理解している。	当該学年の前の学年ま でに配当されている漢字 を書き、文や文章の中 で使っている。	
四 次	ひ ろ げ る	調べたことを文章にま とめるまでの流れをつか む。	1 進んで「食べ物がかせ になるう」を読もうとし ている。	身近な食べ物を調べて いく方法を理解している。		当該学年の前の学年ま でに配当されている漢字 を書き、文や文章の中 で使っている。
		調べたい食べ物を決め、 計画を立てる。	1 調べたい食べ物を決 め、進んで計画を立て ようとしている。		書こうとする事柄を 加除・修正して書い ている。	当該学年の前の学年 までに配当されてい る漢字を正しく書 き、文や文章の中 で使っている。
		教科書p.30「本で 調べる」をもとに、本 での調べ方を知る。 目的に合った本を探し、 調べたことをカードに 書く。	2 調べることに必要な 本を探して読んでいる。  進んで必要な事柄を 選択したり、まとまり に分けたりしている。		表現の効果を確かめ たり、工夫したりして 書いている。	段落のもつ役割を理 解している。
		カードを整理する。	1 進んで必要な事柄を 選択したり、まとまり に分けたりしている。		必要な情報を取捨 選択して書いている。	段落のもつ役割を理 解している。
		それぞれのカードのま とまりごとに文	2 調べたことを、進んで 文章にまとめようとし		調べたことを、事柄 ごとに段落の役	文脈に沿って接続語 を使っている。

	章を書く。 清書する。	いる。		割を意識しながら 書いている。	
	文章をまとめ、 本を作る。 本を読み合い、 互いに評価し合 う。	友だちのよいところを 2 見つけようとしている。		本を読み合う中で、 互いの書いた文章の 構成の工夫に気付い ている。	段落や事柄の順序に 着目している。

## 7 本時の指導

### (1) 目標

大豆をおいしく食べる工夫と食品について進んで読み取ろうとしている。

(関心・意欲・態度)

大豆をおいしく食べる工夫について、叙述に沿って正しく読み取ることができる。

(読むことイ)

接続語や助詞に着目し、大きなまとまりをとらえている。(言語事項)

### (2) 具体の評価規準と手だて

	A：十分満足	B：概ね満足	C：努力を要する
読むこと	いろいろな形にかえるくふうをしておいしく食べることをまとめると書くとともに、自分の考えも書いている。	大豆をおいしく食べるために、いろいろな形に変えるくふうをしていることをまとめに書いている。	机間指導で、「くふう」に着目させ、その「くふう」でなにができるかに気付かせる。

### (3) 本時の授業仮説

一人学びにおいては、くふうとそれによってできる食品名にサイドラインを引く。学び合いにおいては、話し合いで引いた文を出し合わせ、短くまとめて要点を整理し、ワークシートに記入していくことでおいしく食べるくふうをより確かに読み取ることができるであろう。

### (4) 展開

段階	学習内容・子どもの活動	時間	教師の働きかけ・評価 (主発問・留意点 個別の支援 評価)
みとおす	1 前時を想起する。	3分	・前時までに取り取ってきた内容について振り返る。
	2 本時の課題の確認。 大豆をおいしく食べるためのくふうを読み取ろう。		
ふかめる	3 読みの見通しをもつために音読する。 (指名読)	3分	・今日は、大豆をおいしく食べる工夫を読み取っていくことを確認する。 ・「くふう」に着目して読んでいくことを確認する。 ・間の取り方、声の出し方等に気をつけて音読する。  ・あらかじめ用意した3段落の紙板書を使い、児童と一人学びの行い方を確認する。その後、4段落から7段落までは自力解決させていく。
	4 各々の視点に沿って読み深める。 (一人学び) 段落にあるくふうにサイドラインを引く。		

<p>それによってできる食品名にもサイドラインを引く。</p> <p>5 とらえたことをもとに、学び合う。 (学び合い) 発表</p>		<p>よってできる食品にもサイドラインを引こう。</p> <p>サイドラインを引けない子には机間指導で「くふう」に着目できるように気付かせていく。</p> <p>一人学びで引いた言葉とその作り方を発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豆 きなこ とうふ 納豆 みそ、しょうゆ 枝豆 もやしと順に扱い、段落の要点を整理していく。</li> <li>・挿絵等を用意して、大豆と他の食品のつながりを実感させる。</li> <li>・サイドラインを引いた文の発表から話し合いで短く要点をしばらせていくとともに、大豆がすがたを変えているかどうか確認していく。</li> </ul> <p>くふうについて全部見付けられなかった子でも、他者の考えを聞いて気付く機会とする。</p>
<p>7 分かったことをまとめる。</p> <p>ま と め る</p>	<p>11分</p>	<p>おいしく食べるために、たくさんのくふうがありましたね。では、ワークシートに書きましょう。</p> <div data-bbox="300 869 863 987" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>大豆をおいしく食べるために、いろいろな形に変えるくふうをしている。</p> </div> <p>おいしく食べるためのくふうをまとめに書くことができたか。 (読むこと)</p> <p>今日学んだまとまりにも、筆者がみんなにわかってもらうために工夫しているところはないかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段落と段落のつながりは接続語から、表現の工夫は助詞や各段落内部の文章構成に着目することでより筆者が文章を分かりやすくしていることに気付かせていく。</li> </ul> <p>接続語や助詞に着目して段落と段落がつながり、大きなまとまりとなることをおさえることができたか。</p> <p>9 自己評価</p> <p>9次時の学習内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の授業で新たに気付いたこと等をノートに書く。</li> <li>・次の時間は 段落を読み取っていくことを知らせる。</li> </ul>

(5) 板書計画

7	6	5	4	3	2	1
これらのほかにも とりいれる時期や育 て方をかえる	さらに 小さな生物の力をか りてちがう食品にす する	また えいようだけを取り 出してちがう食品に する	次に こなに引いて食べる	その形のままいつた り、にたりする。	おいしく食べるため のくふう	食品名 豆まきの豆
もやし	えだ豆 なつとう みそ しょうゆ	とうふ	きなこ	に豆		

すがたをかえる大豆  
 大豆をおいしく食べるための  
 くふうを読み取ろう。

国分 牧衛

**まとめ**  
 大豆をおいしく食べるために、いろい  
 るな形に変えるくふうをしている。